

高次脳機能障害のある子供の理解

～子供が高次脳機能障害となって…復学・進学、関係機関とのつながりの中で～

WEB 配信

主催：東京都福祉局
障害者施策推進部精神保健医療課
東京都心身障害者福祉センター地域支援課
協力：東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課

日時 ▶ 令和8年 **8** 月 **13** 日 (木曜日)
午前9時から
▶ 令和8年 **8** 月 **31** 日 (月曜日)
午後10時まで



定員 ▶ 700人 (先着順)
(教育関係者 450 人、医療・福祉等関係者 250 人)

申込み ▶ 令和8年 7 月 8 日 (水曜日) 午前9時から
令和8年 7 月 31 日 (金曜日) 午後5時まで

※先着順、定員になり次第締め切ります。多くの方のお申込みをお待ちしております。

プログラム

講演「小児期の高次脳機能障害の理解と対応」 約 70 分

講師：国立成育医療研究センター リハビリテーション科診療部長

発達評価支援室長

かみ で

上出 杏里 氏

小児の高次脳機能障害について、復学時に生じやすい混乱や課題、家族やきょうだいへの支援のあり方、また発達障害との関係等をテーマにご講演いただきます。あわせて、高次脳機能障害者支援法に基づく教育的支援についてもお話しいたします。

トークセッション「復学・進学、関係機関とのつながりの中で」 約 60 分

登壇者：高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ会員

高田 真美 氏

高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ・ジュニア代表 中村 千穂 氏

病気により高次脳機能障害と診断された子どもをテーマとしたトークセッションの様子を配信します。安定した学校生活を送るために、教育関係者や地域支援機関などさまざまな方々に、復学前から相談し、関わっていただいた経緯や、学校内での対応等についてお話しいたします。登壇者は、当事者の母親、家族会代表の2名です。未就学時に発症し、その後、学校生活の中で気になる様子が見られていた時期から、再発を契機に診断に至った過程とその後についてもお話しいたします。

〔申込みについて〕 対象者別に下記 URL または QR コードからお申込みください。

〈教育関係者〉450人（先着順）

①対象：【教育関係者】小・中学校、高等学校、特別支援学校、教育相談所（室）の教職員、スクールカウンセラー、特別支援教育支援員等

インターネット	L GWAN
https://logoform.jp/form/tmgform/1495959	https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/tmgform/1495959
	

〈医療・福祉等関係者〉250人（先着順）

②対象：【区市町村】区保健所、区市町村保健センター、子供家庭支援センター等
【医療機関】急性期や回復期等の医療関係者、OT、PT、ST 等の専門職等

インターネット	L GWAN
https://logoform.jp/form/tmgform/1495944	https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/tmgform/1495944
	

〔注意事項〕

- ・申込期間と配信期間を間違えないように注意してください。
- ・動画の URL 及び資料はお申込みいただいた方のみにメールで御連絡いたします。
申込時のメールアドレスは個人アドレスでも職場のアドレスでも構いません。
受講者が閲覧可能なアドレスにしてください。
- ・動画は、パソコン、タブレット、スマートフォンで視聴できます。
- ・動画には、文字情報（テロップ）はつきませんので、御了承ください。
- ・動画のダウンロード、録画、録音等は御遠慮ください。
- ・資料はデータをダウンロードしていただく予定です。

御不明点等ございましたら、下記事務局宛に御連絡ください。

【事務局】

東京都心身障害者福祉センター地域支援課

高次脳機能障害者支援担当

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ13階

TEL:03-3235-2956

医療・福祉等関係者の皆様へ

この研修は、高次脳機能障害支援体制加算の要件となる研修ではありません。